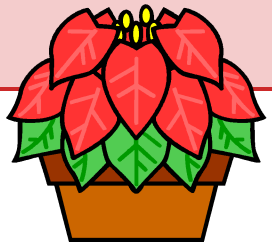
学校教育目標
学ぶ力のある子　【知育】
心の豊かな子　【徳育】
たくましく生きる子　【体育】

あけとの子

活力に満ち　さわやかで　心なごむ学校

深谷市立明戸小学校
平成２８年度　12月号
発行　平成28年12月1日



破局を止める

深谷市立明戸小学校長　横田　茂男

野生の動物でも、犬や猫でも、その種族の保存のために、その種の中では、破局を止める能力を本能的に持ち合わせています。動物の観察を通して、「比較行動学」を確立した一人、ローレンツ(1973年にノーベル医学生理学賞受賞）のオオカミのけんかの観察等によっても証明されています。

オオカミは、仲間同士でも、その鋭いきばを使ってすさまじいけんかをします。しかし、負けたオオカミが勝ったオオカミに組み敷かれると、頭を垂れ、急所中の急所の首筋を、全く無防備のまま敵の前にさらしてしまうそうです。勝ったオオカミは噛むそぶりをみせるものの、噛み殺したりはしません。本能によって噛めないのでしょう。これは、犬や猫でも同様です。

まごころ先生を招いての授業(5･6年)

ところが、人間には、この決定的な破局を止める本能が生まれながらには備わっていません。本能ではなく、習得することによって、破局を止める知恵を獲得しないといけないわけです。多様な個性と付き合うことにより、相手の気持ちになれるという、思いやりの心をつけることが鍵だと言われています。

学校では、様々な個性を持った子供たちが生活しています。基本は学級集団です。学級の中では、時には衝突があります。しかし、お互いの思いを伝えたり、思いを一つに学級の行事を行ったりすることを通して、他人の痛みや悲しみ、苦しみを共感できるようになります。

様々な活動を通して、子供たちには着実に思いやりの心が育まれています。

ＰＴＡ教育講演会　開催される　　11月2日(水)

講師の大島めぐみ氏は、熊谷市の生まれ、埼玉栄高校を卒業され、シドニー、アテネの二つのオリンピックに出場されています。以下に氏の小学生に向けたメッセージの一部をご講演の中からご紹介します。

福嶋ＰＴＡ会長と大島氏(右)

小学生のうちはいろいろな運動を経験してください。運動にはそれぞれ、運動に応じた動きがあります。様々な運動を経験することにより、様々な動きを身に付けることができます。できなかったことができるようになると自信が生まれます。限定してしまうと、いろんな動きを身に付けることができなくなります。

私は、小学生の頃、マラソンは好きでしたが、学年で一番ではありませんでした。ただ、速く走ることはできませんでしたが、朝マラソンのとき、できることをやり通しました。それは、一番にスタートラインに立つことです。そして、５年生の大会ではじめて、１位になることができました。その後、オリンピックに出場することを夢みるようになりました。

高校は、インターハイを７連覇中の埼玉栄高校へ入学しました。そこで、自分に大きな変化がありました。「考える」「行動する」ことを大切にするようになりました。個人種目であっても、お互いの走りを見て、気づいたことを伝え合ったり、仲間の動きや優れた選手の動きを観察して、自分の足りない点を考えるようにしました。

全員が向上することをめあてとしてチームとして練習に取り組みました。遅れそうな仲間には声を掛けます。それでも遅れてしまった仲間には文字通り背中を押してあげます。そうすることによって、全員が力をつけることができました。埼玉栄高校は８連覇を達成しました。

走ることは当然頑張りましたが、あいさつについては特に指導が厳しかったです。顧問(部活動の担当)が、遠くに見えたらすぐに大きな声であいさつをします。あいさつの声が小さかったりすると、30分間校庭から山に向かって、あいさつの練習をし続けなければなりません。相手に聞こえないのはあいさつではありません。あいさつができないのは、部活動の練習をする資格がありません。そのくらいあいさつは大切です。

皆さん、あいさつは大切ですよ。元気な声であいさつができるようになってください。(以下　略)

１２月 の 行 事 予 定

日	曜日	日課・業前	行　　事　　予　　定
1	木	ﾄﾞﾘﾙ学習	登校指導　開校記念日　　委員会(5･6年)
2	金	冬季5時間　運動	明戸中入学説明会
3	土	月曜日課5時間　　読書	弁当の日　かるた大会　授業参観日・懇談会
4	日		
5	月	読書	芸術鑑賞会
6	火	全校朝会	
7	水	運動	租税教室6年　避難訓練(幼小)
8	木	ﾄﾞﾘﾙ学習	登校指導　　クラブ(4･5･6年)
9	金		振替休業日
１０	土		家庭教育学級(明戸公民館)
１１	日		青少年健全育成深谷市民大会　緊急連絡ページ
１２	月	読書	一斉下校　　あいさつ運動･安心ふっかﾈｯﾄ強化週間
１３	火	ﾄﾞﾘﾙ学習	まごころ訪問引渡式(6年)
１４	水	運動	登校指導　社会科見学(5年)
１５	木	福祉集会	福祉の心を育む交流事業
１６	金	冬季5時間 音読朝会	安全点検
１７	土		
１８	日		
１９	月	読書	福祉交流(4年深緑苑訪問)
２０	火	特A5	
２１	水	4時間　ﾄﾞﾘﾙ学習	登校指導　給食最終日
２２	木	3時間	終業式　月末統計
２３	金		天皇誕生日
２４	土		冬季休業日 （～平成29年1月9日）
２５	日		

開校記念日 12月1日

1873年(明治6年)12月1日に、蓮沼小学校として設立されたのが本校の前身です。校章が制定されたのが昭和10年、町村合併により、深谷市立明戸小となったのが昭和30年、校歌が制定されたのが昭和34年です。昭和22年度には、児童数、1,210名(22学級)を数えていました。

まごころ訪問引渡式　13日

地区内の一人暮らしの高齢の方々に、花と手紙をプレゼントします。6年生が代表して民生委員・児童委員の方々に依頼し、代わって届けていただきます。

福祉の心を育む交流事業15日

本校は、毎年、深緑苑と交流しています。全校集会で、各家庭からお預かりしたタオルやティッシュボックスを寄付し、深緑苑からは新刊図書が贈られます。19日に、４年生が深緑苑を訪れ交流活動を行います。

お祝いラッシュに沸いています

祝出産　篠田綾子養護教諭に10月24日に第三子(二男)が誕生しました。

祝結婚

2年2組担任　砂本　健志郎　教諭が10月24日に入籍しました。

1年2組担任　天方　裕衣　教諭が11月3日に入籍しました。

なお、同日より、新井に改姓しています。

【私(校長)の小学校時代⑥】　私の小学校時代を簡単に紹介しています。今回は、ダルマストーブです。

このテーマを出すのに躊躇いを感じました。「ダルマストーブと共に生きた校長はいつの時代の校長か？」と言われかねないからです。補足ですが、ダルマストーブは鋳鉄（ちゅうてつ）でできており、膨らんだ形体がダルマを想起させることから、そう呼ばれるようになったようです。燃料は主に石炭です。

勇気をもって続けます。

当時の日直にはストーブを点す大切な仕事が課せられていました。（今は、児童にストーブの火の管理をさせるようなことはありません。）そのため、いつもより早めに登校し、レトロ感溢れる専用のバケツに石炭を入れて教室へ運びます。すぐに石炭を燃やすことはできませんので、薪に火を点けます。新聞紙などを燃やしながら、薪に、そして炎が十分成長したところで、石炭をくべます。（この場合、「くべる」という表現が大変に適切です。）炎が安定した段階で、乾燥を防ぐために、水を張った金属製の桶をストーブの上に置きます。火の管理も主に日直でした。石炭を入れ過ぎると、ダルマストーブの温度が上がり、高崎のダルマのように赤く染まります。

給食時、牛乳を温めて飲みたければ、瓶(給食は瓶牛乳でした)のフタを開け、少し飲んで量を減らし、桶の中に入れて温めました。古きよき時代（good old days）でした。

学校だよりは、明戸小学校ホームページに掲載しています。